

(調査様式1)

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 25年10月15日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	第4670104522号
法人名	医療法人サン・レオ会
事業所名	グループホーム ゲンキ館
所在地	鹿児島市上之園町29-14 (電話) 258-7113
自己評価作成日	平成 25年 7月 1日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島県鹿児島市下荒田2丁目48番13号
訪問調査日	平成25年7月24日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

鹿児島市の中心部に位置し利便性の高い場所ではあるが、小学校や、高校に囲まれた閑静な住宅地にある。
人としての尊厳を尊重するという理念に基づいて、懇切丁寧な介護を提供し、皆様と明るく落ち着いた日常がすごせるように日々努力している。
認知症の症状の進行した方でも、適切な対応ができるようにスタッフ全員研修を受け取り組んでいる。階下の医療機関は人工透析も行っているため、認知症で透析治療が必要な方の入居も可能である。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

市の中心部に位置し、学校や商店街が近くにあり生活の利便性の高い場所ではあるが、周囲は閑静な住宅地になっている。母体法人の医療機関が同じビルの中にあり利用者の健康管理に対する連携も迅速に対応出来る体制となっており利用者・家族の信頼と安心に繋がっている。管理者・職員は「人としての尊厳の保持、地域の中で家庭と同じような生活を確保する。」という理念の基に利用者へのサービスの質の高い支援に努めているホームである。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	「人としての尊厳」を大切にしながら家庭的な生活を目指す理念を作り、常に職員は理念を共有し支援している。	地域密着型サービスの意義を踏まえた理念を、全職員で考えて作り上げている。ミーティング時や日々のケア中で振り返り確認をして理念の共有を図っている。玄関の入り口及びホールにも掲示して常に意識づけをしている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	学校区の地域の施設として認知して頂ける様に働きかけ、小学校の児童クラブの子供たちとの交流や学校の行事に参加し交流を図っている。	学校区の地域の施設として小学校の運動会、バザーなどに出掛けたり、また当ホームの敬老会には参加しており、児童クラブの子供達とも交流がある。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	街中の地域性で近隣の付き合いはなかなか出来ないが、民生委員、家族とのつながりを大切にしている。又、地域の方々の介護に関する困った事などの相談助言を行っている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議で家族、民生委員の方々に評価結果の報告を行い意見や助言を頂き、又会議に参加できなかった家族にも書面にて結果報告を行っている。職員も評価の内容を把握しサービスの向上に活かしている。	会議は定期的に行われ利用者・家族・民生委員が参加、行事報告やサービスの案件、外部評価結果報告を行い、意見交換しながらサービスの向上に活かしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる</p>	<p>包括センターとの連携を図り研修や、他の事業所との交流を図っている。事故報告等の連携や、介護保険外のサービスも市の窓口に出向き相談し協力関係を築いている。</p>	<p>包括支援センターとの連携を図り市の福祉課担当及び障害福祉課の担当とも相談したりして、協力関係を築いている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>入職時の研修や、月一度の法人内の会議において身体拘束の実態確認や、身体拘束廃止委員会を設置し、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束廃止委員会を設置してマニュアルをもとに、身体拘束のないケアに取り組み「人としての尊厳」を大切にされた支援をしている。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>内部研修や法人内の会議で意見交換を行い、虐待が見過ごされる事の無い様お互いが注意できる環境、意識付けを行っている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>研修に参加した職員を中心に基礎的な理解が出来る様になっている。現在、活用されている家族もある。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入所時や、内容の変更時にご家族と個別に面談し、十分な理解と納得を得られる様に丁寧な説明を行い理解して頂いている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族の面会時や担当者会議、運営推進委員会の際に他職種の方々の参加を頂き、話し易い環境を作っている。意見箱を設置し運営に反映している。	会議は定期的に行われ利用者・家族・民生委員が参加、行事報告やサービスの案件、外部評価結果報告を行い、意見交換しながらサービスの向上に活かしている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	週一回のミーティングや法人内での会議で問題を提案し、管理者や代表者が検討し運営に反映している。	毎週のミーティングで、職員の意見を聞き、代表者や管理者は提案のあった問題や意見を検討し運営に反映させている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	個人の希望や条件に沿った就労が出来る様に努め、やりがいや責任を持って、各自の向上心を高められる様に情報提供に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>各種の研修の案内や、スキルアップ、資格取得に取り組める様に情報提供している。また、新人教育や内部研修を行い技術の向上に努めている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>同業者の施設見学を行ったり交流を図り、情報を得る機会を設け様々な情報を得てサービスの向上に取り組んでいる。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>先入観を持たず、本人の思いを理解する様に努めている。また不安や孤独感の強い方には話し易い関係を築ける様に努めている。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>相談時家族の不安や、利用者に対する思いを傾聴し受け止め、施設見学をして頂きホームの雰囲気やサービスの理解を求め良い関係が築けるように努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>個々の思いや、不安を受け止め現状の把握を行い、本人の気持ちが表示できるように対応し、家族には他のサービスの説明も行い対応している。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>これまでの経験や人生観を聴き感情表現や行動の理解に努め、出来る作業を一緒に行いながら多くの事を利用者の方々から学び、お互いの支え合う関係を築ける様に取り組んでいる。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族の出来る事は積極的にお願ひするなど密な情報交換を行ひ、職員と家族が協働しながら共に支え、本人と家族の絆を大切にしている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族と地元に戻り大切な人や場所との交流を図る等、関係の継続に努めている。また、近隣の散髪屋、商店街に行き馴染みの関係を築き継続出来る様に支援している。	近隣に住んでいる利用者が多く友人知人の訪問が多い。また家族の協力を得ながら、墓参り・散髪・買い物などに出かけ馴染みの人や場所との関係が継続できるように支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	日常生活を一緒に送るうえで家族の様な関係を築き、気づいた事などはその場で解決出来る様に努め、座席の配置や役割の分担など利用者の関係が和気あいあいの雰囲気になる様に努めている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	電話や訪問で退所後の近況を尋ねたり、家族が訪ねてくださるなどの関係を維持し相談や助言など行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	出来る限り希望や意向の把握に努め思いを優先している。把握が困難な方も家族の情報や表情から、その方らしい生活が遅れる様に努めている。	日常の会話や動作などから、出来るだけ本人の希望や意向を把握するようにしており本人本位に検討して、職員間ではミーティングを通して共有するようにしている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	家族や馴染みの方々のお話と本人の職業歴、生活歴の情報を参考に趣味やサービスが継続出来る様に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	ひとり一人の生活パターンやリズムの把握を行い、時間がかかってもその方のペースに合わせて職員が動くように努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人、家族や他職種の方々の参加で担当者会議を開催し、本人や家族の意向が反映出来る様にし、日常のミーティングや介護記録等からも情報を得て計画作成を行っている。	利用者・家族・職員・栄養士・看護師等の意見を反映し担当者会議を開催している。現状に即した介護計画を作成している。3ヶ月ごとの見直しも実施している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>日々の様子や介護の工夫などを個別記録し、朝の交代時と夕方の交代時に申し送りを行い情報を共有している。状態変化が見られる場合は計画の見直しを行っている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>協力医療機関との医療連携が出来ており、状況に応じて往診など個々のニーズに柔軟に対応している。また、リハビリテーションの充実や他事業所との交流にも取り組んでいる。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>友人や、近隣の方の面会や民生委員の訪問を受け、又小学校の見守りを通じて地域の中で生活している実感と充実感が持てるように支援している。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>基本的にはそれぞれの希望を大切にしている。他科受診は家族が同行されるが、状況によっては職員が同行するなど適切な受診が出来る様に支援している。歯科医院との連携も出来ており訪問診療も可能である。</p>	<p>希望のかかりつけ医の受診を支援している。歯科医院との連携も出来ており、歯科訪問診療の内容も密度が濃い、利用者にとって適切な医療をしている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>日常で看護師の協力と関わりがありスタッフの意識、知識向上につながっている。週に1度は受診と健康管理をしてもらい、緊急時に備え看護師が24時間対応できる体制が出来ている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>入院時には主治医より紹介状をもらい情報を提供している。日々の状態や支援に関しては医療機関に介護情報提供書を作成し早期に治療、退院が出来る様に情報を提供している。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>重度化の対応や看取りに関する指針を文章化し説明を行っている。その上で家族の意向や希望を優先し、主治医、職員と密に連携を図り可能な限り対処出来るように支援している。</p>	<p>重度化や終末期に対する指針も作成され説明し同意を得ている。看取りの経験もあり主治医・職員・家族との信頼関係が出来ている為、可能な限り対処出来る支援をしている。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>マニュアルを作成している、法人内の看護師の指導を受けながら救急手当や初期手当を訓練し実践に活かしている。また、定期的にマニュアルの確認を行えるように内部研修も行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年2回避難訓練を法人全体で行い夜間時の協力体制やマニュアルも作成している。また、近所の家族にも協力をお願いして緊急時に備えている。</p>	<p>年2回避難訓練を消防署の指導のもとに、マニュアルに沿って昼夜間想定し実施。近くに消防署があり協力体制も充分である。災害時の備蓄もある。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	年長者としてひとり一人の人格を尊重し馴れ合いからくる言葉使いや態度に注意し入浴や排せつ時のプライバシーを損ねない様に対応している。	理念の「人としての尊厳の保持」を常に意識し言葉使いや態度に気をつけてプライバシーを損ねない支援をしている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	その日の気分により入浴時の服装を選んだり、その時々のお思いを汲み取り、押し付けにならない様に自己決定に努めている。			
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的な日課はあるが、個人のペースを尊重し、皆さんと一緒に過ごせる時間も確保している。入浴や食事の時間も出来る限り柔軟に対応出来る様に支援している。			
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	買い物に行き好みの洋服を時間を掛け選んだり、マニキュアやパーマ、毛染めなどの身だしなみなどお洒落も本人の希望に沿った支援を行っている。			
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の準備は出来る事をお願いし、食事の時間が楽しい雰囲気になる様に心掛け支援している。後片付けも体調や気分に合わせ可能な限り一緒に行っている。	食事の時間が楽しく過ごせるよう心がけ、後片付けも体調や気分に合わせた可能な限りの協力をもらっている。グループ法人の栄養士による献立となっている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>管理栄養士の指導のもと、栄養バランスや水分量の確認を行い一人ひとりの摂取量の把握に努め、その方に合った量、形態の提供を行っている。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>食後は毎回口腔ケアを行い口腔内の清潔に努め、職員は提携の歯科医の指導、助言も受け口腔ケアの重要性を認識している。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>個別の排泄状況やパターンを把握し、トイレ誘導を行い自立に向けた取り組みを行っている。自立の方は維持出来る様に声掛けや見守りを行い支援している。</p>	<p>排泄パターンを把握し、日中は布パンツやリハパンツで過ごす利用者が多い。トイレ誘導を行い自立に向けた取り組みと、自立の方は維持継続できるように見守り支援している。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>排泄の状況を把握し、週1回の主治医の指導や服薬の処方を受け、繊維の多い食事や水分量にも気をつけ、適度の運動も行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している</p>	<p>入浴日は決めているが、本人の希望に沿っていつでも入浴出来る様に柔軟に対応している。また、同じ建物内の大浴場を利用し温泉気分に入浴を楽しんで頂いている。</p>	<p>入浴日は決めているが、本人の希望に沿った柔軟な対応をしている。入浴を拒否する利用者は時間をずらしたり大浴場を使うなど利用者が入浴を楽しめる工夫をして支援している。</p>		
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>日中の生活パターンが出来ており、体調を考慮し自室で休んだりホールのソファでくつろいだり、昼食後は昼寝や休息を促して気持ちよく過ごせる様に支援している。</p>			
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>職員は一人ひとりの薬の内容を処方箋で確認し、内容の変更も把握し理解している。状態の変化が見られたら主治医に報告し職員間でも情報を共有している。</p>			
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>毎月テーマを決め飾り付けをしている。得意な事や、出来る事を無理なく、レベルに応じて行い、楽しみや気分転換になる様に支援している。</p>			
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p>	<p>家族の協力をもらい自宅の様子を見に出かけたり、外食や外泊も出来る様に支援している。また、年間行事をたて、普段行けない様な場所の水族館や花見に出かける機会を設けている。</p>	<p>日常的に近隣の散歩や商店街への買い物に出かけている。家族の協力のもと自宅訪問やドライブを兼ねた花見など年に数回外出の機会を設け支援している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>自己管理の出来る方は財布を持って頂き、買い物もして頂いている。家族から金銭を預かり買い物の支援をする時も本人が支払う様に支援している。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>入居者の希望があれば電話をかけたり、友人や親族からの手紙や葉書のやり取りができる様に支援している。また、年賀状を家族に出し喜ばれている。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>共有の空間は季節感を出せる様に工夫し、空気の入れ替えや温度調節にも気を付けている。広くて開放感のある共有部分はこの環境を生かし清潔で、居心地の良い環境づくりを心掛けている。</p>	<p>エレベーターで玄関入り口まで行くと広い廊下があり、共有空間は非常に明るく清潔で常時換気、温度調整がされていて、居心地良く過ごせる工夫がされている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>座席は気の合う方々と一緒に過ごせる様にし、工作或レクリエーション、ゲーム等で楽しめたり、助けあえる馴染みの席を提供できる様に工夫している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入居時に家族と相談し馴染みの物や今まで過ごしてきた環境に近く、好みの物を置き安心して過ごせる様に工夫している。</p>	<p>居室の入り口には利用者の好みの暖簾がかけられ、壁や家具の所に季節の飾り物があり、写真や植木鉢など馴染みの物もあり居心地良く過ごせる工夫をしている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>トイレや浴室、玄関や廊下など安全に過ごせる様に環境を整備し自分の部屋が分かる様な工夫をしたり出来る事を優先し自立した生活が送れる様に工夫している。</p>	/	/

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない